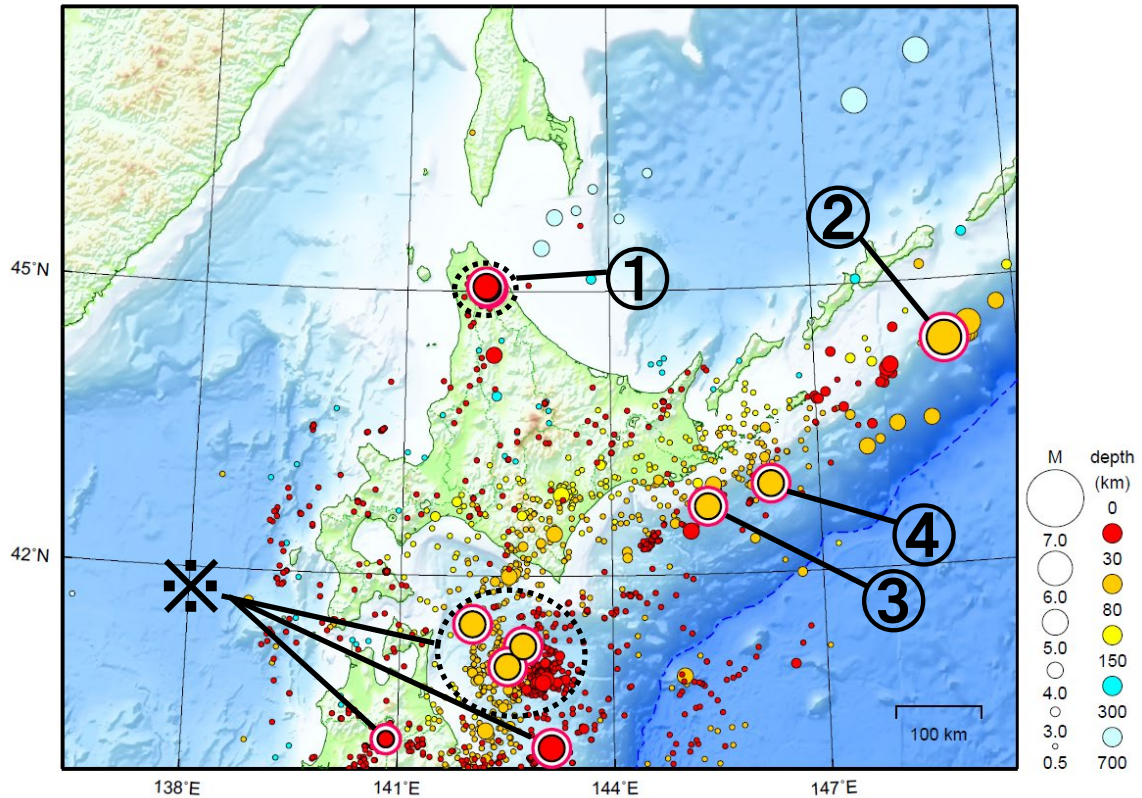


北海道地方

2026/01/01 00:00 ~ 2026/01/31 24:00

N=3577



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030 及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

- ① 宗谷地方北部・南部では、1月12日から31日までに震度1以上を観測する地震が41回（震度3：5回、震度2：12回、震度1：24回）発生した。このうち最大規模の地震は、13日に宗谷地方北部^(注)で発生したM5.2の地震（最大震度3）である。

（注）情報発表に用いた震央地名は〔宗谷地方南部〕である。

- ② 1月13日に択捉島南東沖でM6.3の地震（最大震度2）が発生した。
③ 1月15日に釧路沖でM5.6の地震（最大震度3）が発生した。
④ 1月27日に根室半島南東沖でM5.0の地震（最大震度3）が発生した。

※で示した地震については東北地方の資料を参照。

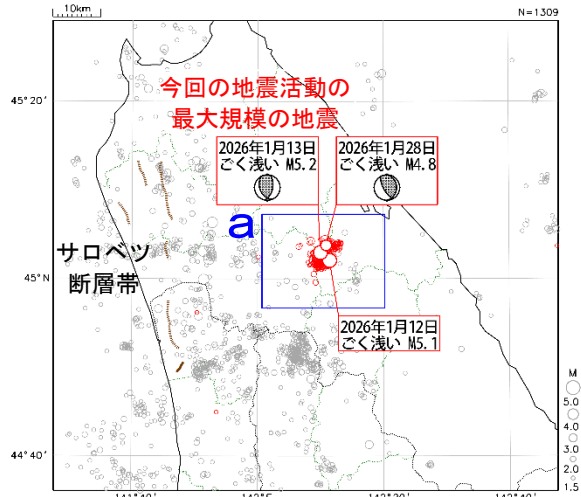
[上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

気象庁・文部科学省

1月12日からの宗谷地方北部・南部の地震活動

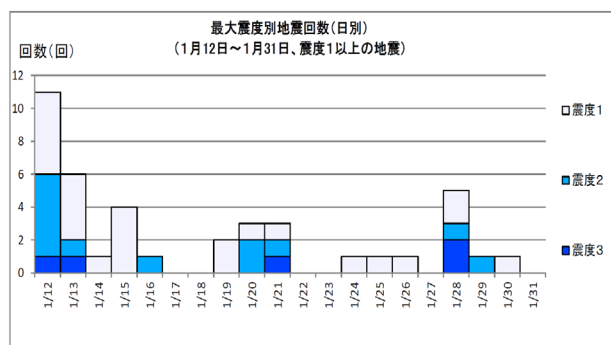
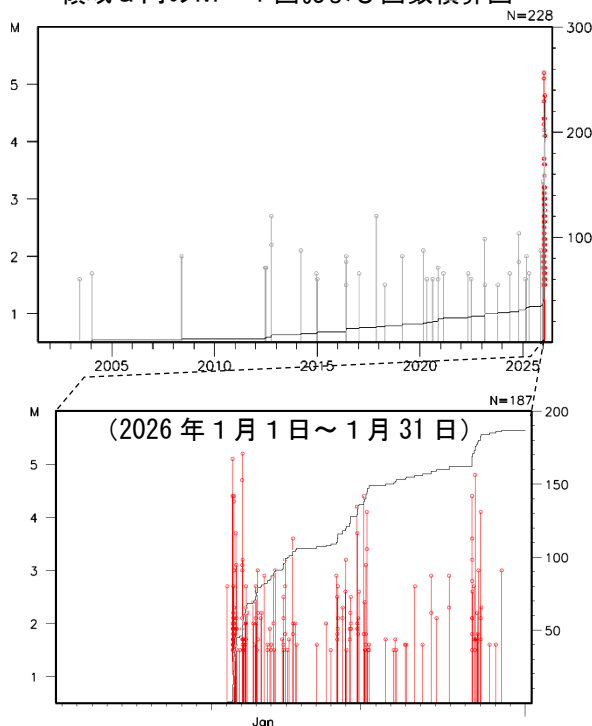
震央分布図

(2001年10月1日～2026年1月31日、
深さ0～30km、 $M \geq 1.5$)
2026年1月に発生した地震を**赤色**で表示
図中の発震機構はCMT解



震央分布図中の茶線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

領域a内のM-T図および回数積算図



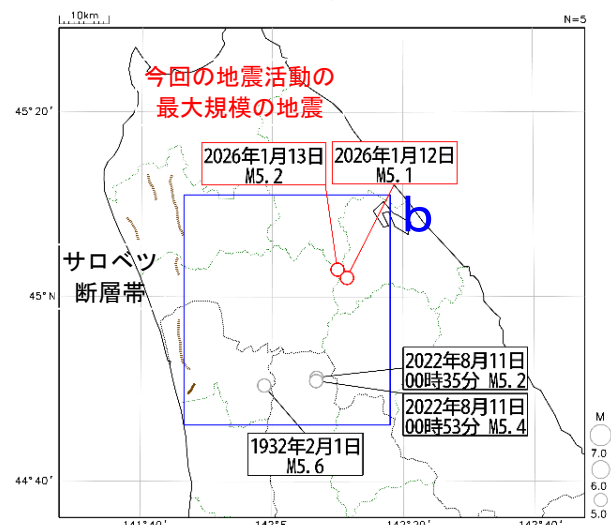
宗谷地方北部・南部では、2026年1月12日01時頃からややまとまった活動が見られ、31日までに、震度1以上を観測した地震が41回（震度3：5回、震度2：12回、震度1：24回）発生した。これらの地震は地殻内で発生した。このうち最大規模の地震は13日01時58分に発生したM5.2の地震（最大震度3）である。この地震の発震機構（CMT解）は東西方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

2001年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域a）では、M3程度の地震がまれに発生しているが、M5.0以上の地震は発生していなかった。

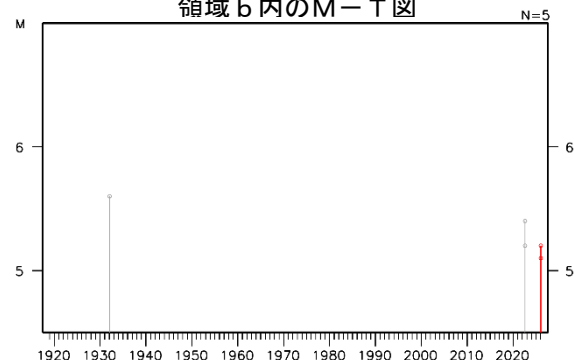
1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、M5.0以上の地震が今回の活動を除いて3回発生している。2022年8月11日に発生したM5.4の地震（最大震度5強）により、住家被害2棟の被害が生じた（被害は総務省消防庁による）。

震央分布図

(1919年1月1日～2026年1月31日、
深さ0～60km、 $M \geq 5.0$)



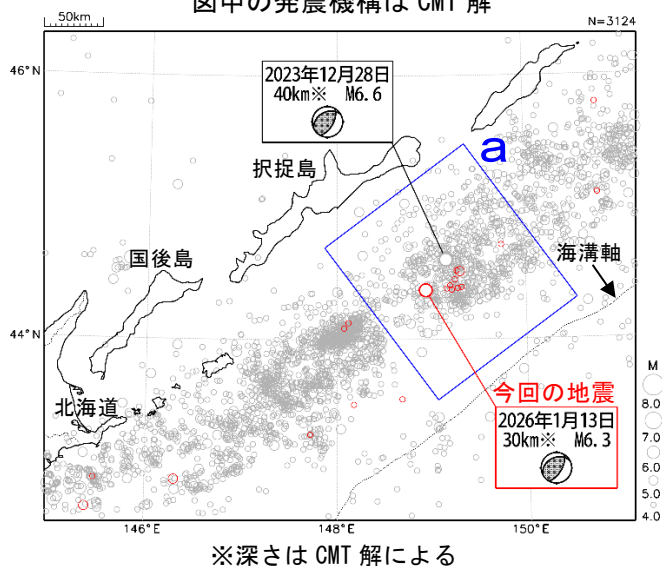
領域b内のM-T図



1月13日 択捉島南東沖の地震

震央分布図

(2001年10月1日～2026年1月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 4.0$)
2026年1月に発生した地震を**赤色**で表示
図中の発震機構はCMT解



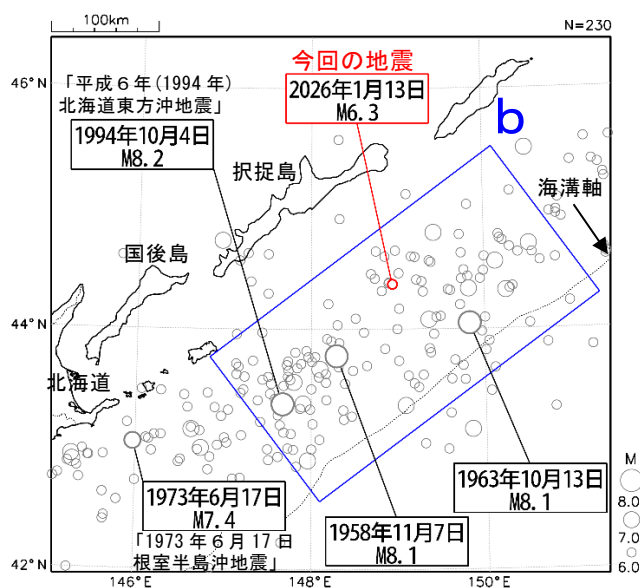
2026年1月13日16時34分に択捉島南東沖の深さ30km(CMT解による)で $M 6.3$ の地震（最大震度2）が発生した。この地震の発震機構(CMT解)は北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

2001年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近(領域a)では、 $M 6.0$ 以上の地震が今回の地震を除いて6回発生しており、直近では、2023年12月28日に $M 6.6$ の地震（最大震度3）が発生している。

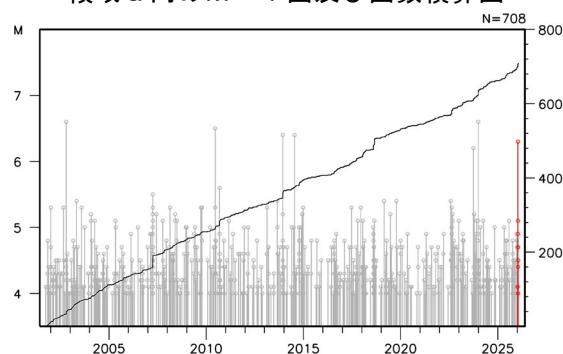
1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域b)では、 $M 8.0$ 以上の地震が3回発生している。1994年10月4日に発生した「平成6年(1994年)北海道東方沖地震」($M 8.2$ 、最大震度6)では、根室市花咲で168cm(平常潮位からの最大の高さ)の津波を観測するなど、北海道から沖縄県にかけて津波を観測したほか、重軽傷者436人、住家被害4,586棟などの被害が生じた(被害は「日本被害地震総覧」による)。

震央分布図

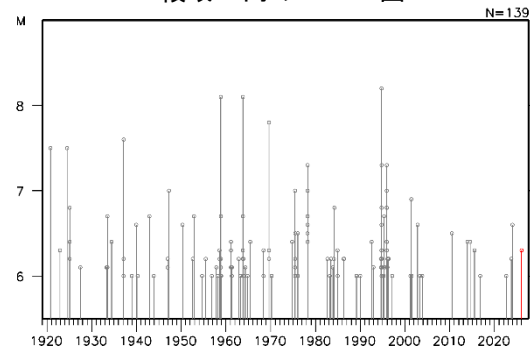
(1919年1月1日～2026年1月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 6.0$)
2026年1月の地震を**赤色**で表示



領域a内のM-T図及び回数積算図



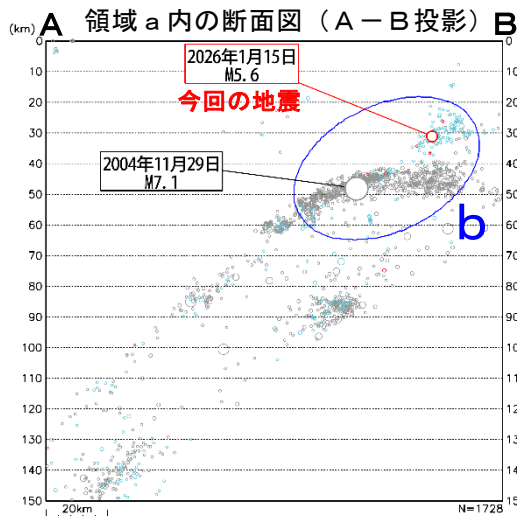
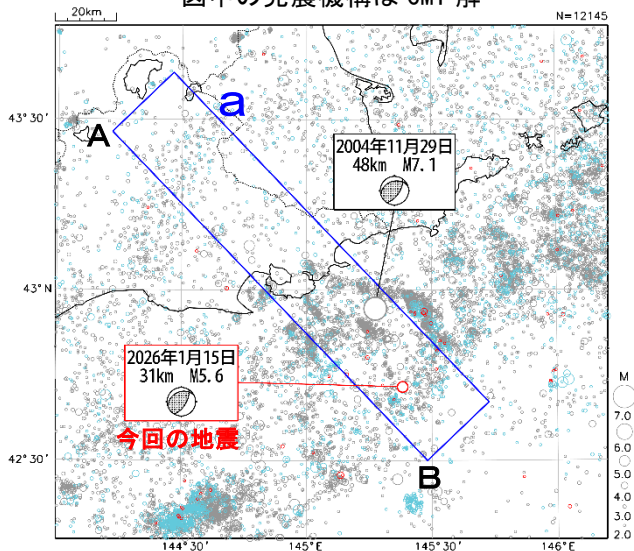
領域b内のM-T図



1月15日 釧路沖の地震

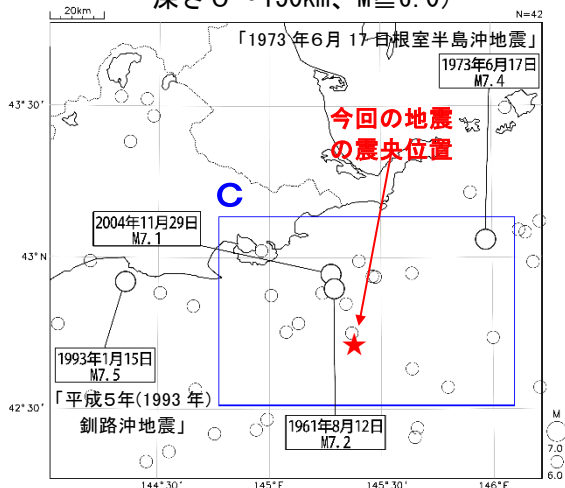
震央分布図

(2001年10月1日～2026年1月31日、
深さ0～150km、 $M \geq 2.0$)
2020年9月以降に発生した地震を**水色**、
2026年1月に発生した地震を**赤色**で表示
図中の発震機構はCMT解



震央分布図

(1919年1月1日～2026年1月31日、
深さ0～150km、 $M \geq 6.0$)

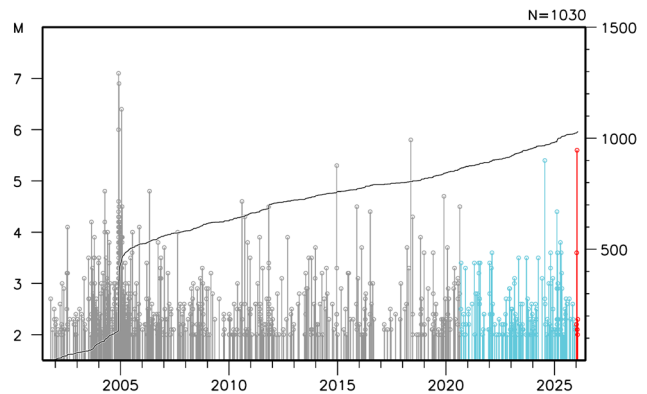


2026年1月15日07時13分に釧路沖の深さ31kmでM5.6の地震（最大震度3）が発生した。発震機構（CMT解）は北西－南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した地震である。

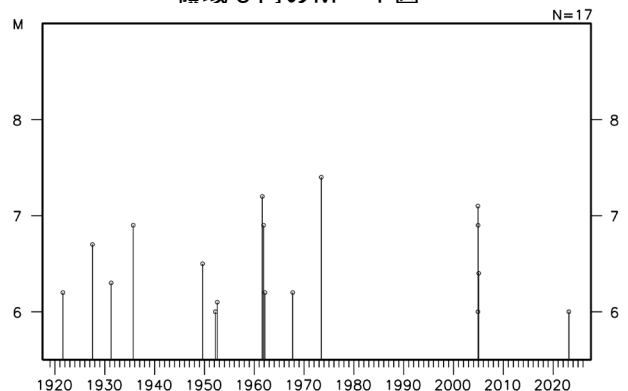
2001年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、M5.0以上の地震が時々発生している。2004年11月29日に発生したM7.1（最大震度5強）の地震では、負傷者52人、住家被害5棟などの被害が生じ、根室市花咲で最大の高さ12cmの津波を観測するなど、北海道太平洋沿岸東部で小さな津波を観測した（被害は総務省消防庁による）。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、M7.0以上の地震が3回発生している。「1973年6月17日根室半島沖地震」（M7.4、最大震度5）では、根室・釧路地方で負傷者26人などの被害が生じ、根室市花咲で最大の高さ280cm（平常潮位からの最大の高さ）の津波を観測するなど、北海道から四国地方にかけての太平洋沿岸で津波を観測した（被害は「日本被害地震総覧」による）。

領域b内のM-T図及び回数積算図

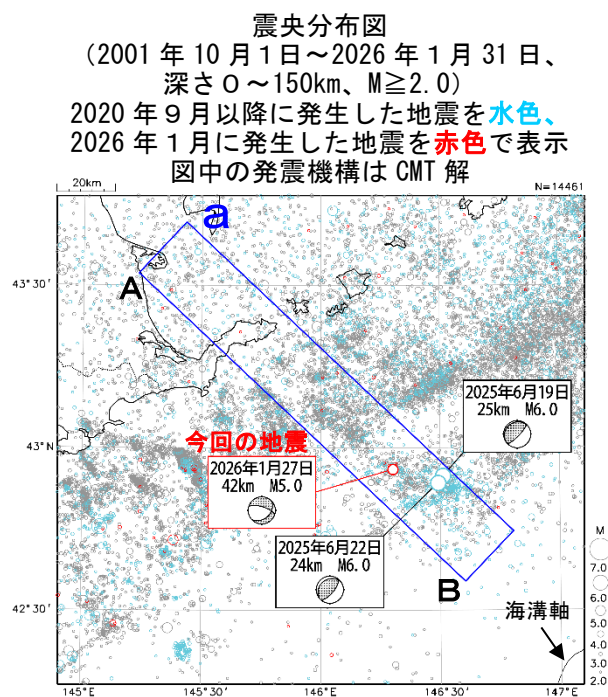


領域c内のM-T図



気象庁作成

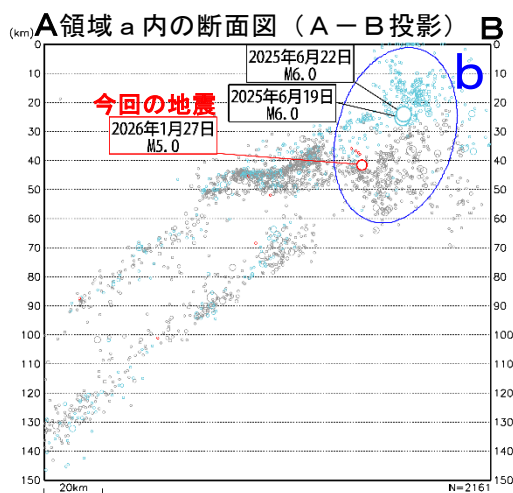
1月27日 根室半島南東沖の地震



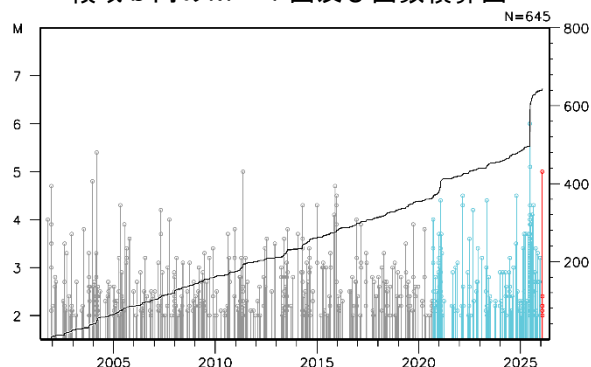
2026年1月27日11時47分に根室半島南東沖の深さ42kmで $M 5.0$ の地震（最大震度3）が発生した。この地震は、太平洋プレート内部で発生した。発震機構（CMT解）は南北方向に張力軸を持つ型である。

2001年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、 $M 5.0$ 以上の地震が今回の地震を除いて4回発生している。最大規模の地震は2025年6月19日に発生した $M 6.0$ の地震（最大震度4）と、同年6月22日に発生した $M 6.0$ の地震（最大震度3）である。

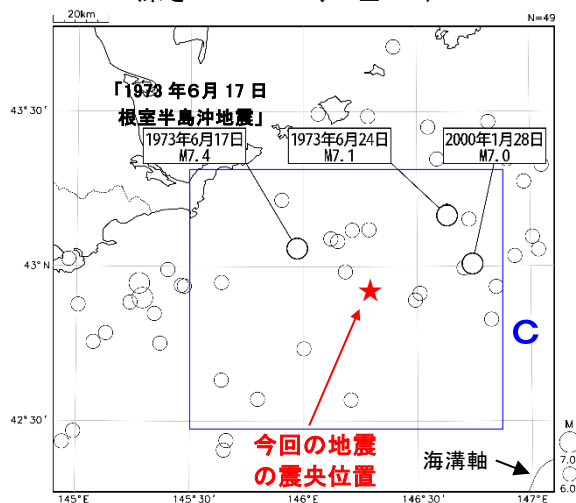
1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、 $M 7.0$ 以上の地震が3回発生している。「1973年6月17日根室半島沖地震」（ $M 7.4$ 、最大震度5）では、根室・釧路地方で負傷者26人などの被害が生じ、根室市花咲で最大の高さ280cm（平常潮位からの最大の高さ）の津波を観測するなど、北海道から四国地方にかけての太平洋沿岸で津波を観測した（被害は「日本被害地震総覧」による）。



領域b内のM—T図及び回数積算図



震央分布図
(1919年1月1日～2026年1月31日、
深さ0～150km、 $M \geq 6.0$)



領域c内のM—T図

